

# 7月の中小企業月次景況調査(茨城県)

[平成30年7月末現在]

平成30年8月9日  
茨城県中小企業団体中央会

非製造業の数値はおおむね改善したものの、猛暑による消費低迷等の影響により製造業の数値がすべて悪化した。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は改善したが、「売上高」「収益状況」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」はすべて悪化した。非製造業では、「景況」「売上高」は改善したが、「収益状況」は変化がなかった。

## 景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-11.5ポイント、非製造業は、前月比16.6ポイント改善の-4.2ポイント、全体では、前月6.0ポイント改善の-8.0ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比で30.7ポイント悪化の-19.2ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント改善の-20.8ポイント、全体では、前月比14.0ポイント悪化の-20.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比15.4ポイント悪化の-23.1ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-29.2ポイント、全体では、前月比で8.0ポイント悪化の-26.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	7月は水戸市等の一部で夏休み開始日が従来より3日ほど前倒しになった地域があり、それに伴う給食回数減により売上が減少した事業者がある。 また、従来ではパン給食固定曜日においても米飯給食が実施され、パン給食の減少が県内すべての地域で深刻になっている。
	餡	
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県、前月(5月分)は18か月ぶりに前年同月を上回り105.7%となったが、6月の課税移出数量は前年同月比95.1%と落ち込んでいる。なかでも6月は特定名称酒全体でもマイナスであり、日本酒全体の落ち込みが続いている。反面、焼酎においては、前年同月比100.1%と昨年並みを維持。夏場の酎ハイ用が好調の様子。また、30年5月の輸出免税数量は前年同月比115.4%の伸びを示しており、変わらず順調に推移している。  ○県内当業界について 当県酒造組合としては、9月から10月にかけての大きなイベントを控え、企画・事前準備に注力している。9月28日は東京浅草イベントとして、今年は「茨城の地酒で乾杯2018」屋形船で大宴会、200名限定(1艘50名×4艘)とし、8月1日より募集を開始した。また、翌月10月1日は、全国一斉日本酒で乾杯を開催する。茨城のメイン会場・水戸京成ホテルにおいて、県知事をはじめとし、乾杯条例施行自治体7市とともに、県内諸団体への呼びかけにより、乾杯シーンを公式サイトに投稿いただき、公式ホームページで発信していくもの。
	納豆	暑さの影響により納豆の消費が減少している。 秋頃より資材等の値上げ要請がきているので、製品を値上げしても厳しくなるのではないかと思われる。 人手不足で大変厳しい組合員もいる。
	菓子	
繊維工業	織物	
	袋物	全体的に仕事量が少なくなった印象である。底上げに期待したい。
	衣服	
木材・木製品	製材	需要は盛り上がり欠けているが、需給バランスは保たれており不足感組合員から聞かない。持合傾向である。 空き家が増え続けている。平成25年度の調査では7軒中1軒が空き家だったが、平成33年には3軒中1軒の比率になると予想されている。住宅建設は続いているが、住む人が減るため空き家が増えている。
	県北地区プレカット	お盆休みの影響か、7月後半より加工出荷が増加した。 お盆休み明けには大型物件の納品予定があり、稼働日が少ない月のため生産はフル稼働の状態である。 猛暑の影響で工場作業員がこまめに休憩を入れざるを得ないため、作業効率が落ちた。
	県央地区プレカット	7月後半はお盆前の上棟希望物件が重なり生産工程の調整に苦労をした。 引き続き大型物件（老健施設・保育園・共同住宅等）の需要は伸びている。
紙・紙加工品	段ボール	販売単価が上がる4月までに取引先が仮需をしたため、7月は前年割れの企業が多かった。 大手は、広島・岡山の被災による飲料や食糧等の箱の注文の影響で繁忙となっている。
印刷	総合	
化学・ゴム	自動車部品	
窯業・土石製品	石材	
	コンクリート製品	
	焼物	特に大きな変化はなかった。 今年の夏は暑さが厳しいため客足が遠のいており、早く暑さが落ち着いてくるのを待っている。
	生コンクリート	
鉄鋼・金属	鍍金	売上・収益状況共に前年と同程度で大きな落ち込みはなかった。 電気料金は安定しているが、石油製品等が値上がり傾向である。 金属材料については、貴金属などは高値で推移、ニッケルは大きな変動は無く、亜鉛は値上がりした。 薬品等については大きな値上がりはない。
	鑄造	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製造業	一般機器	精密機器	
	電気機器	工業団地	対象7組合員（製造会社）の売上状況は前年同月比で増加が1社、減少が6社となり、全体増減率は91%であった。 西日本豪雨の影響を受け、得意先の部品調達が一部停滞し操業を数日間休止した。この影響で大部分の組合員が納入の大幅減少を余儀なくされ、売上高は低調であった。休業分は8月以降の休日出勤と残業の増加により挽回する意向で、今後の増産が期待される。
		重電	
	輸送機器	自動車部品	生産高は全体的に上昇傾向にある。収益（率として）はやや減少傾向にあるが、受注数の増加で収益額をカバーしている様子。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非製造業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は前年同月比0.78%の減少であった。 ウナギが土用の丑の日に高値が続いていたものの、暑さの影響で出荷数量は前年並みとなった。 猛暑が続いている影響で大型スーパーや小売店の来店客数が減少しているため、販売に苦慮している。 水産庁によると、8月中旬から旬のサンマの来遊量が前年の2.4倍ほどに増える見込みとの発表があり、期待している。
		県南地区卸	組合員の1社が倉庫狭あいのため、当団地を撤退予定。2年後につくば市内に土地を確保している。 総じて売上は減少している。
		食品卸売業	7月は、野菜果実合計で前年同月比102%の取扱高となった。野菜に関しては、連日の猛暑と雨不足の影響により全体的に生育の遅れがみられ、前年同月比で入荷量減、単価高で推移した。果実に関しては、6月から続く安定的な天候により1週間ほどの前進出荷となっていたが、桃、ブドウ等では高温障害による生育遅れが出てきている。
		セメント卸	袋セメントの出荷数量は、前年同月比14%の減少。袋セメントの需要が工法の変化で縮小していること等に原因がある。
	小売業	県北地区共同店舗	売上は前年同月比103.4%、客数は133%であった。 猛暑の中涼みに来店下さるお客様がいるのにも関わらず、デマンド制御のため空調を止めざるを得ない状況だった。
		県央地区共同店舗	全体の売上高は前年同月比101%。 衣料品の売上は4~6月にかけては回復傾向にあったが、猛暑や6月のセール品の前倒しの影響で7月は減少。 一方、食品は先月同様前年同月比を確保した。
		県南地区共同店舗	例のない高温続きのためか、売上、客足ともに店舗間格差が目立つ月であった。 サービス業種（遊戯施設、フィットネス、リラクゼーション）は、前年同月110%を維持し好調であった。 衣料（特に婦人服が不調）、文化品（雑貨、インテリア）は、前年同月比85.5%と不調であった。
		クレジット	
		クレジット	
		家電	猛暑の影響で、夏物商材を中心に活況を呈する。 例年以上の暑さが到来して、エアコンの設置・修理等に追われる日々となった。 ただし、消費者はまずネット価格を見て、その次に量販店へ行き、そして専門店へ行くという購入方法を行っており、6割の消費者は安い方で購入するとの情報もあり、商売がますます難しい時代となっている。
		石油	原油価格が高値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で20円上昇している。猛暑により需要は堅調だが、一部の地域では依然として一般組合員の仕入価格を下回るような安値販売競争が続いており、収益状況は改善されていない。
		農機具	配送業者の運賃が増額されたので、運賃のかからない方法での取扱を検討する必要がある。
	商店街	水戸	
		筑西	厳しい暑さが原因かどうか定かではないが、来客数が減少した。
	建設業	総合	先月より工事発注が順調に行われている。各社とも受注が増えているが価格競争は続いており十分な利益は確保できていない。長年の不況により閉鎖した鉄骨工場が多いため、鉄骨関係の工事は需要に対して供給が追いつかない状態である。 また、工場を建設しても熟練技術者が不足しているためすぐには稼働できない状況である。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設	
		鉄筋工事業	
	サービス業	自動車整備	7月の組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の前年同月比は、普通車が95.8%、軽自動車が99.5%となり、共に減少となった。
ホテル・旅館		梅雨明けも早く猛暑日が連日であっても、海水浴客の海離れは昨年よりも顕著であり、浜辺のイベント等においても集客が難しい様子。 県西、鹿行エリアにおいては、合宿客が増加しているが、従業員不足のため朝食等の対応が出来ず、やむを得ず予約を断っている施設も増えてきている。 県央においては、予期せぬ台風の影響により販売価格はマイナス傾向のようである。	

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
平成30年7月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	7月の組合員数は117名、車輛台数は150台で6月と比較して増減なし。全国連合会の7月の組合員数は8225名、車輛台数は9757台と6月と比較して15名減少、6台減少となった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の物量動向は鈍く、各組合員の売上は減少している。また、燃料価格は不安定であり依然収益は厳しい状況にある。
	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	パン給食回数の増加の要望
	酒	日本酒業界の全国的な取組みの一つである、「酒蔵ツーリズム」の企画連携、乾杯条例の広がりの中で、10月1日の一斉乾杯イベント支援協力をお願いしたい。
	納豆	今年も最低賃金が約3%上昇する予定となっており、中小企業では大変厳しくなると思われる。製品価格に転嫁するのは難しいなか、毎年3%も上昇するとなると中小企業はやっていけなくなる。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止
建設業	総合	鉄骨工場には建設規模によりグレードが指定されているが、公共工事の多くは必要のない上のグレードの工場を指定してくるケースが多い。そのため上位グレードの工場は新たな鉄骨部材の製作を受けられない状況になっている。過度な品質要求と必要以上の資格者の配置要求は是正していただきたい。

月次景況調査 7月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比	7月	6月	前月比
景 況	▲ 8.0	▲ 14.0	6.0	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 20.8	16.6
売 上 高	▲ 20.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.2	11.5	▲ 30.7	▲ 20.8	▲ 25.0	4.2
収 益 状 況	▲ 26.0	▲ 18.0	▲ 8.0	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 29.2	▲ 29.2	0.0
販 売 価 格	10.0	12.0	▲ 2.0	15.4	11.5	3.9	4.2	12.5	▲ 8.3
取 引 条 件	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 8.3

# 中小企業月次景況調査(平成30年7月)DI値(前年同月比)

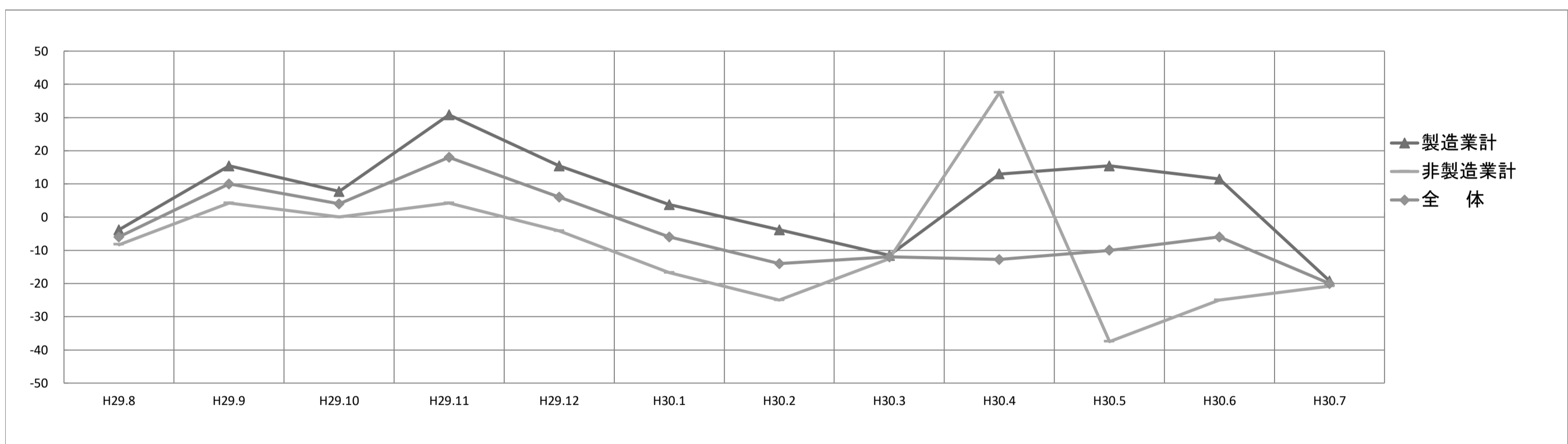
	売上高					在庫数量					販売価格					取引条件					収益状況					資金繰り					設備操業度					雇用人員					業界の景況					
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)									
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数		好転	不変	悪化	業界数						
製造業	食料品	△ 50.0	0	3	3	6	△ 33.3	0	4	2	6	50.0	3	3	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	1	3	2	6
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	33.3	1	2	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3					
	木材・木製品	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	一般機器	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2					
	電気機器	100.0	1	0	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2
	製造業計	△ 19.2	2	17	7	26	△ 15.4	1	20	5	26	15.4	5	20	1	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 7.7	0	24	2	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 3.8	1	23	2	26	△ 11.5	2	19	5	26
非製造業	卸売業	△ 75.0	0	1	3	4	25.0	1	3	0	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	3	1	4	△ 50.0	0	2	2	4	△ 25.0	0	3	1	4					0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	
	小売業 (商店街含む)	△ 9.1	4	2	5	11	9.1	1	10	0	11	9.1	2	8	1	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 36.4	1	5	5	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 27.3	0	8	3	11	△ 18.2	1	7	3	11	
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2					△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		
	建設業	20.0	1	4	0	5					0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5		
	運輸業	0.0	1	0	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2					0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2		
	非製造業計	△ 20.8	6	7	11	24	13.3	2	13	0	15	4.2	3	19	2	24	△ 12.5	1	19	4	24	△ 29.2	1	15	8	24	△ 16.7	0	20	4	24					△ 12.5	0	21	3	24	△ 4.2	3	17	4	24	
全体	△ 20.0	8	24	18	50	△ 4.9	3	33	5	41	10.0	8	39	3	50	△ 10.0	1	43	6	50	△ 26.0	1	35	14	50	△ 12.0	0	44	6	50	△ 15.4	1	20	5	26	△ 8.0	1	44	5	50	△ 8.0	5	36	9	50	

## D I 値推移表 (H29. 8月 ~ H30. 7月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	H29. 8	H29. 9	H29. 10	H29. 11	H29. 12	H30. 1	H30. 2	H30. 3	H30. 4	H30. 5	H30. 6	H30. 7
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	5.0	25.0	10.0	35.0	20.0	10.0	0.0	▲ 15.0	11.8	20.0	10.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 3.8	15.4	7.7	30.8	15.4	3.8	▲ 3.8	▲ 11.5	13.0	15.4	11.5	▲ 19.2
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	▲ 36.4	▲ 9.1	45.5	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1
サービス業	0.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0
建設業	20.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	▲ 40.0	20.0	20.0
運輸業	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 8.3	4.2	0.0	4.2	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 20.8
全体	▲ 6.0	10.0	4.0	18.0	6.0	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 12.8	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 20.0

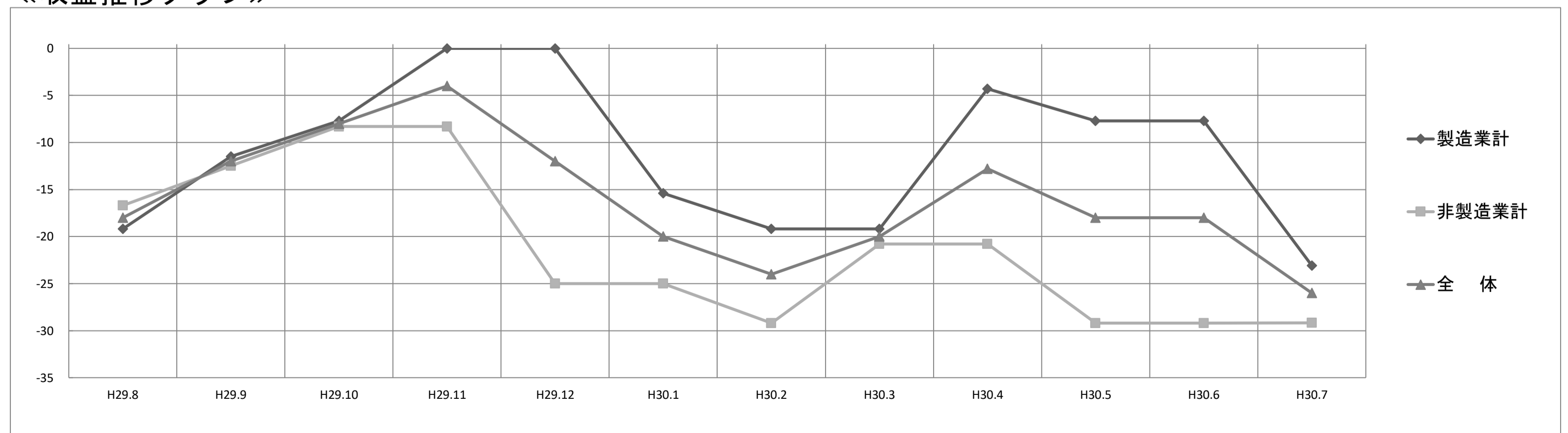
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	H29. 8	H29. 9	H29. 10	H29. 11	H29. 12	H30. 1	H30. 2	H30. 3	H30. 4	H30. 5	H30. 6	H30. 7
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	16.7	33.3	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 5.0	▲ 10.0	0.0	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 15.4	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 4.3	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 23.1
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 36.4
サービス業	50.0	50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 29.2
全体	▲ 18.0	▲ 12.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 12.8	▲ 18.0	▲ 18.0	▲ 26.0

### 《収益推移グラフ》

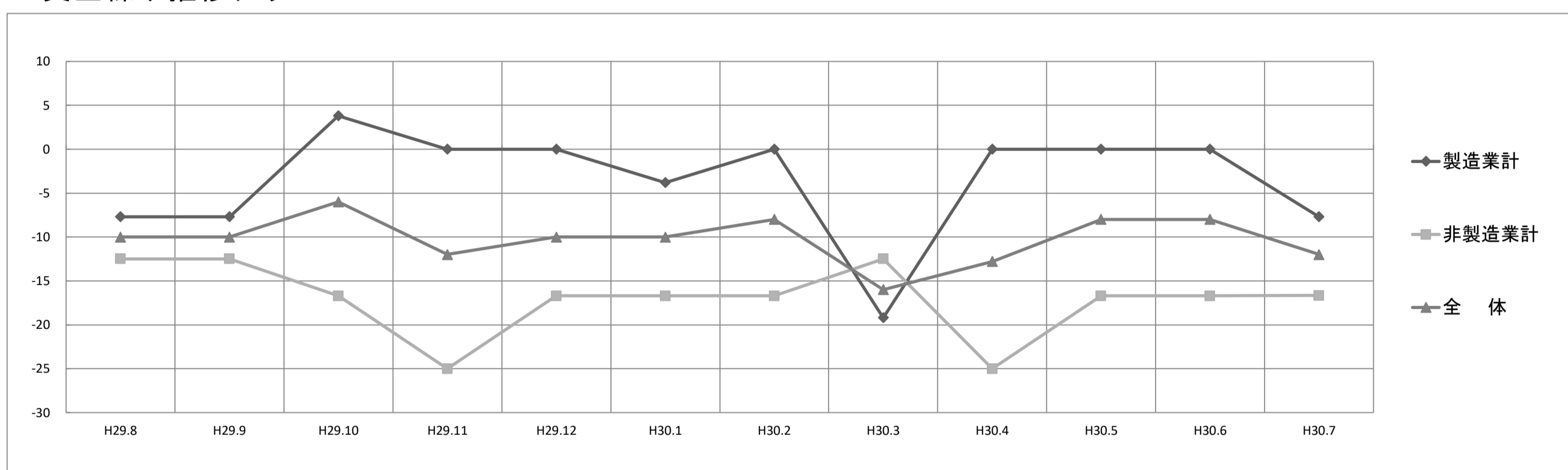


## D I 値推移表 (H29.8月 ~ H30.7月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 16.7	0.0	16.7	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 5.0	0.0	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 7.7	3.8	0.0	0.0	▲ 3.8	0.0	▲ 19.2	0.0	0.0	0.0	▲ 7.7
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7
全体	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 12.8	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 12.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	H29.8	H29.9	H29.10	H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 15.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	5.9	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 10.0
製造業計	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	▲ 3.8	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 7.7	4.3	0.0	▲ 7.7	▲ 11.5
卸売業	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 18.2
サービス業	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	50.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 4.2
全体	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 8.5	▲ 14.0	▲ 14.0	▲ 8.0

### 《景況推移グラフ》

